※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	新家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新家庭基礎　気づく力　築く未来　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。
家庭科では「よりよい生活」とは何かを知るために、自分の幸せとは何か、自分が求めているものは何かを考えていく学習です。持続可能な社会の構築を目指して健康や環境に配慮しながら自立して生活する、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する、ために家庭科で学んだことを自分の生活の問題として捉え、主体的に解決し、実践していきましょう。

２　学習の到達目標

a：家族・家庭、保育・高齢者、衣食住、消費や環境などに関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付ける。
b：家族・家庭、保育・高齢者、衣食住、消費や環境などについて、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付ける。
c：家族・家庭、保育・高齢者、衣食住、消費や環境などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	家族・家庭、保育・高齢者、衣食住、消費や環境などに関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付けている。	家族・家庭、保育・高齢者、衣食住、消費や環境などについて、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけている。	家族・家庭、保育・高齢者、衣食住、消費や環境などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	家族・家庭	○生涯発達と発達課題 ○自立と共生 ○ライフキャリア ○共に生きる家族 ○家族に関する法律	a: 生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識・技術を身に付けている。 b: 生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 授業観察 ノート提出 振り返りシート	授業観察 ノート提出 振り返りシート、発表
	子どもとかかわる	○子どものとは ○子どもの発達 ○子どもの生活 ○子どもをはぐくむ ○子どものための社会福祉	a: 子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識・技術を身に付けている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 授業観察 ノート提出 振り返りシート	授業観察 ノート提出 振り返りシート、発表
	高齢者とかかわる	○高齢社会に生きる ○高齢者を知る ○高齢者の自立を支える ○高齢社会を支えるしくみ	a: 高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識・技術を身に付けている。 b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 授業観察 ノート提出 振り返りシート	授業観察 ノート提出 振り返りシート、発表

※令和４年度以降入学生用

	社会とかかわる	○支えあって生きる ○共生社会を生きる	a：共生社会と福祉について理解し、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的な支援が果たす役割を認識するための知識・技術を身に付けている。 b:共生社会を成立させるための課題を見いだし、その解決をめざし社会の一員として何ができるか考え、工夫している。 c：共生社会と福祉について家庭や社会の一員として関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 授業観察 ノート提出 振り返りシート	授業観察 ノート提出 振り返りシート、発表
二学期	食生活をつくる	○日本の食文化の形成 ○私たちの食生活 ○栄養と食品のかかわり ○食品の選び方と安全 ○食事の計画と調理 ○これからの食生活を考える	a：栄養、食品、調理、食品衛生、食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境などについて学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識・技術を身に付けている。 b：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、栄養、食品、調理、食品衛生、食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 授業観察 ノート提出 振り返りシート	授業観察 ノート提出 振り返りシート、発表

※令和４年度以降入学生用

	衣生活を作る	○人と衣服のかかわり ○衣服の素材の種類と特徴 ○衣服の選択から管理まで ○持続可能な衣生活をつくる ○衣服の構造・デザイン	a: 被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。 b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。	定期考査	定期考査 授業観察 ノート提出 振り返りシート、実習、作品	授業観察 ノート提出 振り返りシート、発表 実習、作品
	住生活をつくる	○人間と住まい ○住まいの文化 ○住まいを計画する ○健康に配慮した快適な室内環境 ○安全な住まい ○持続可能な住まいづくり	a: 住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 授業観察 ノート提出 振り返りシート	授業観察 ノート提出 振り返りシート、発表
三学期	消費行動を考える	○消費行動と意思決定 ○消費生活の現状と課題 ○消費者の権利と責任 ○ライフスタイルと環境	a:消費生活の現状と課題について理解し、消費行動につなげる必要な知識・技術を身に付けている。 b:消費生活と生涯を見通した消費行動ついて、考え、工夫している。 c: 消費生活と生涯を見通した消費行動ついて、関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 授業観察 ノート提出 振り返りシート	授業観察 ノート提出 振り返りシート、発表

※令和４年度以降入学生用

	経済的に自立する	○暮らしと経済 ○将来のライフプランニング	a: 現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c: 消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 授業観察 ノート提出 振り返りシート	授業観察 ノート提出 振り返りシート、発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度